

2021年12月期 第1四半期決算短信[日本基準](連結)

2021年5月13日

上場会社名 古林紙工株式会社

上場取引所

東

コード番号 3944

URL http://www.furubayashi-shiko.co.jp/

2021年5月13日

(役職名) 代表取締役会長兼社長 代表者

(氏名) 古林敬碩

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長兼経営企画部長

(氏名) 米島明

TEL 06-6941-8561

四半期報告書提出予定日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無 四半期決算説明会開催の有無 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年12月期第1四半期の連結業績(2021年1月1日~2021年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業和	J益	経常和	J益	親会社株主に! 半期純	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第1四半期	3,709	8.1	37		51		36	
2020年12月期第1四半期	4,037		157		163		103	

(注)包括利益 2021年12月期第1四半期

139百万円 (%) 2020年12月期第1四半期

109百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円銭	円 銭
2021年12月期第1四半期	32.95	
2020年12月期第1四半期	94.32	93.48

___________________当社は2019年6月27日に開催の第89回定時株主総会で、「定款一部変更の件」が承認されたことを受けて、2019年12月期より決算日を3月31日から12月31日 に変更いたしました。これに伴い、2020年12月期第1四半期と2019年12月期第1四半期は連結対象期間が異なるため、2020年12月期第1四半期の対前年同四 半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

(-) X=MINI PX 1/10			
	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年12月期第1四半期	17,062	8,686	47.2
2020年12月期	17,510	8,859	47.0

(参考)自己資本

2021年12月期第1四半期 8.053百万円

2020年12月期 8,235百万円

2 配当の状況

2. 80 = 0 - 100 100	年間配当金							
	第1四半期末	第1四半期末 第2四半期末 第3四半期末 期末 合計						
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭			
2020年12月期		25.00		25.00	50.00			
2021年12月期								
2021年12月期(予想)		25.00		25.00	50.00			

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日~2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上	高	営業和	引益	経常和	引益	親会社株主 当期純		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,200	3.6	300	47.0	400	32.9	250		226.22

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 以外の会計方針の変更 : 無 会計上の見積りの変更 : 無 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む) 期末自己株式数 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期1Q	1,776,820 株	2020年12月期	1,776,820 株
2021年12月期1Q	671,713 株	2020年12月期	671,713 株
2021年12月期1Q	1,105,107 株	2020年12月期1Q	1,090,747 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等はさまざまな要因により大き〈異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1.	当四	四半期決算に関する定性的情報	2
	(1)	経営成績に関する説明	2
	(2)	財政状態に関する説明	2
	(3)	連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2.	四当	半期連結財務諸表及び主な注記	3
	(1)	四半期連結貸借対照表	3
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
		四半期連結損益計算書	
		第1四半期連結累計期間	5
		四半期連結包括利益計算書	
		第1四半期連結累計期間	6
	(3)	四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
		(継続企業の前提に関する注記)	7
		(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
		(追加情報)	7
		(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1)経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により経済活動や個人消費に大きく影響を及ぼすなど極めて厳しい状況が続いております。原料となる板紙出荷量も伸び悩んでおります。海外の経済においても、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による経済活動の抑制、米中対立など厳しい状況が続いております。その中でも中国では経済活動の再開で緩やかに回復し、米国も雇用回復が持続するなど持ち直しの動きもありますが、予断を許さない状況が続くものと思われます。

このような状況の中、当社グループでは、「包装を通じて社会に奉仕します」の社是に則り、新型コロナウイルス感染症拡大の状況下においても、お客様にはWeb会議ツールも駆使して受注活動を進めております。当社グループー体でお客様への供給責任を果たすべく、各部門で従来からの課題の解決に取り組むとともに部門相互で連携を強化し、全社一体となってお客様と締結した品質契約と個別契約の要求基準を満たす製品を生産し、確実な納品を徹底しております。このように「優秀な製品」「確実な納品」「適正な価格」の造り込みを進めております。

また、当社グループでは、ESGを経営の根幹に据え、事業を通じて社会的課題の解決を図るよう努めております。環境に関しては、より少ないエネルギーと素材をより無駄なく製品化することで環境負荷低減に貢献するべく、設計技術と生産性の向上に取り組んでおります。持続可能な調達を推進するお客様の環境に配慮したパッケージのために森林認証紙の使用が増え、使用重量比76.3%が認証紙となっております。従業員の健康状況に関しては、日々情報を収集し、全社で共有しております。新型コロナウイルス感染症に対しては、すべてのステークホルダーへの安全安心を最優先に、消毒の徹底、従業員とその家族へのマスク配布および対策の指導、工場内の入場制限、ソーシャルディスタンスの確保、時差出勤、在宅勤務など、人への安全確保を第一とした各種感染症拡大防止策の励行を引続き徹底しております。この他、当社で前連結会計年度から取組みに着手しましたデジタルトランスフォーメーション(DX)に向けて、ERPパッケージを中心に環境構築作業を進めております。

その結果、売上高は3,709百万円(前年同四半期比8.1%減)となりました。日本では、前年同四半期からは新型コロナウイルス感染症拡大が影響しております。中国では古林紙工(上海)有限公司を前連結会計年度末に連結除外したことが影響しております。損益面では、日本での売上高減少および中国での原材料価格の高騰と上海古林国際印務有限公司の移転費用計上により、営業損失は37百万円(前年同四半期は営業利益157百万円)、経常損失は51百万円(前年同四半期は経常利益163百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失は36百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益103百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループにおける当第1四半期連結会計期間末の資産は17,062百万円となり、前連結会計年度末に比べ448百万円減少しました。これは、主に受取手形及び売掛金で前連結会計年度末が休日であった影響により334百万円減少、投資有価証券で時価下落により266百万円減少したことによるものであります。当第1四半期連結会計期間末の負債は8,376百万円となり、前連結会計年度末に比べ275百万円減少しました。これは、主に支払手形及び買掛金で前連結会計年度末が休日であった影響により246百万円減少したことによるものであります。当第1四半期連結会計期間末の純資産は8,686百万円となり、前連結会計年度末に比べ173百万円減少しました。これは、主に投資有価証券の時価下落によるその他有価証券評価差額金185百万円の減少によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年12月期の業績につきましては、2021年2月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。 なお、新型コロナウイルス感染症が、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。今後、業績予想の 修正が必要となった場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

		(十匹:日/311)
	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1, 238	1, 193
受取手形及び売掛金	4, 560	4, 226
商品及び製品	608	619
仕掛品	266	347
原材料及び貯蔵品	195	238
その他	191	184
貸倒引当金		$\triangle 1$
流動資産合計	7, 056	6, 807
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	1, 534	1, 719
土地	1,689	1, 689
その他(純額)	1, 098	955
有形固定資産合計	4, 321	4, 362
無形固定資産	5	5
投資その他の資産		
投資有価証券	5, 064	4, 797
退職給付に係る資産	306	320
その他	759	772
貸倒引当金		$\triangle 1$
投資その他の資産合計	6, 128	5, 888
固定資産合計	10, 454	10, 255
資産合計	17, 510	17, 062

		(単位・日ガ刊)
	前連結会計年度 (2020年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3, 731	3, 485
短期借入金	1, 081	1,060
1年内返済予定の長期借入金	605	602
未払法人税等	75	61
賞与引当金	27	141
その他	1,219	1, 187
流動負債合計	6, 738	6, 536
固定負債		
長期借入金	906	946
退職給付に係る負債	104	101
資産除去債務	3	3
その他	900	790
固定負債合計	1,913	1, 840
負債合計	8, 651	8, 376
純資産の部		
株主資本		
資本金	2, 151	2, 151
資本剰余金	1, 410	1, 410
利益剰余金	3, 133	3, 066
自己株式	△923	△923
株主資本合計	5, 772	5, 704
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2, 258	2, 072
為替換算調整勘定	137	215
退職給付に係る調整累計額	68	61
その他の包括利益累計額合計	2, 463	2, 348
新株予約権	8	8
非支配株主持分	616	625
純資産合計	8, 859	8, 686
負債純資産合計	17, 510	17, 062

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
売上高	4, 037	3, 709
売上原価	3, 350	3, 202
売上総利益	688	507
販売費及び一般管理費	531	544
営業利益又は営業損失(△)	157	△37
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	15	15
その他	17	9
営業外収益合計	35	25
営業外費用		
支払利息	4	5
為替差損	5	14
その他	20	21
営業外費用合計	29	39
経常利益又は経常損失(△)	163	△51
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期	163	△51
純損失(△)		△51
法人税等	67	10
四半期純利益又は四半期純損失(△)	96	△61
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△7	$\triangle 25$
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	103	△36

(四半期連結包括利益計算書) (第1四半期連結累計期間)

		前第1四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年3月31日)
四.	半期純利益又は四半期純損失(△)	96	△61
そ	の他の包括利益		
	その他有価証券評価差額金	△132	△185
	為替換算調整勘定	$\triangle 63$	115
	退職給付に係る調整額	△10	△8
	その他の包括利益合計	△205	△78
四.	半期包括利益	△109	△139
(内訳)		
	親会社株主に係る四半期包括利益	△81	△151
	非支配株主に係る四半期包括利益	△28	12

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記) 該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) 該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社および国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行およびグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産および繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書の(追加情報) (新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する会計上の見積り) に記載しております新型コロナウイルス感染症の拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報)

- I 前第1四半期連結累計期間(自2020年1月1日 至2020年3月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	승計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3, 336	701	4, 037
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	_	310	310
計	3, 336	1, 012	4, 347
セグメント利益	190	12	202

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	202
セグメント間取引消去	0
その他の調整額(注)	△46
四半期連結損益計算書の営業利益	157

- (注) その他の調整額は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
 - Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自2021年1月1日 至2021年3月31日)
 - 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	日本	中国	合計
売上高			
(1) 外部顧客への売上高	3, 085	624	3, 709
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	_	291	291
計	3, 085	915	3, 999
セグメント利益又は損失(△)	44	△45	△1

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1
セグメント間取引消去	0
その他の調整額(注)	△36
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△37

(注) その他の調整額は主に報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。